(2) 研究実施体制等の整備に関する目標を達成するための措置

- ・教育ネットワーク研究センター（仮称）内に以下の4部門を置く。
- ①研究プロジェクト部門：卓越した研究拠点として当該研究分野をリードできるような共同研究プロジェクトを推進する。
- ②国際交流部門：外国大学との学術交流、共同研究を推進する。
- ③コンサルティング事業部門：教育相談・心理相談等のコンサルティング事業を企画推進する。
- ④研究・教育支援部門：上記の①～③の目標を達成するための研究支援及び教育・学習支援を行う。

年度計画	
16年度	コンサルティング事業部門の整備を行う。
16年度実施内容	教育ネットワーク研究室運営委員会での審議を踏まえ、コンサルテーション事業経費を計上し、設備備品などの拡充を図った。また、当該年度の活動実績を教育ネットワーク研究室年報に掲載して外部に公表した。
17年度	研究プロジェクト部門の研究を25%増加させる。
17年度実施内容	先端的な研究プロジェクト部門の研究費を増加させ、研究の一層の充実をはかった。
18年度	教育ネットワークセンターを設立し、①研究プロジェクト部門、②国際交流部門、③コンサルティング事業部門、④研究・教育支援部門の整備を行う。
18年度実施内容	教育ネットワークセンターを設立するとともに、①研究プロジェクト部門、②地域教育支援部門、③国際交流部門、④研究・教育支援部門を整備した。
19年度年度計画	事業推進会議を中心として各部門の事業を充実発展させるとともに、研究プロジェクトの実施要項を改定し、研究・教育支援体制の一層の充実を図る。
達成度評価資料	教育ネットワーク研究センターの組織と業務内容一覧、研究科国際交流委員会報告、臨床心理相談室紀要、ネットワーク研究室紀要

- ・教育情報学研究部との研究協力を推進する。

年度計画	
16年度	科研費、研究COE等の競争的研究資金の獲得に向けて、具体的に研究テーマを定め、研究費申請を行う。
16年度実施内容	競争的研究資金の獲得に向けて、大学院教育学研究科と教育情報学研究部の教員から構成される委員会を構成し、研究計画を立案した。
17年度	研究科内において公開研究会、シンポジウム等を行い、新たな研究上の接点を求めるとともに、前年度以上に具体的な研究協力を進める。
17年度実施内容	科学研究費補助金基盤研究(B)「特別支援教育を軸とした高等教育システムの構築」(研究代表者・生田久美子教育学研究科教授)に基づく両部局の共同研究を推進し、研究会及び公開シンポジウムを実施した。
18年度	研究協力が適切に行なえているか、2年間の実績の見直しを図り、必要があれば新たな体制を整える。
18年度実施内容	前年度の科研費研究(研究代表者・生田教授)による研究協力を継続的に推進した。
19年度年度計画	科学研究費補助金基盤研究(B)「特別支援教育を軸とした高等教育システムの構築」(研究代表者・生田久美子教育学研究科教授)に基づく両部局の共同研究の最終年度であり、研究成果報告書を作成する。
達成度評価資料	教授会議事録、共同研究一覧 平成17年度科学研究費補助金交付申請書、公開シンポジウム案内

- ・学内の教育研究組織との連携、協力を推進する。

年度計画	
16年度	従来の協力関係の内容を見直し、将来に向けて新たな協力、連携をどのように図っていくか、組織間の中期目標・中期計画のすり合わせを行なう。

16年度実施内容	運営会議を中心に、組織間の中期目標・中期計画の関連性の検討及び今後の協力、連携の方向性についての検討を行った。
17年度	新しい計画のもとに、研究科としての連携・協力内容を審議・決定する。
17年度実施内容	高等教育研究開発推進センターとの間で、教員の兼務等の体制を整え、組織間の連携・協力を図った。
18年度	連携・協力を維持し、問題があればその改善を図る。
18年度実施内容	高等教育研究開発推進センターとの間で、協力教員による授業実施など連携・協力体制を維持した。
19年度年度計画	「教育設計評価専攻」の設置に向けて、他研究科との連携・協力体制を整える。
達成度評価資料	総務委員会関係資料、共同研究一覧